文部科学省による出席停止になる学校感染症と出席停止期間

種類	感染症名	出席停止期間
第1種	エボラ出血熱 クリミア・コンゴ出血熱痘瘡 南米出血熱 ペスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎(ポリオ) ジフテリア 天然痘(痘そう) 重症急性呼吸器症候群 (病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるもの) 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるもの) 特定鳥インフルエンザ	治癒するまで
第2種	新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルスであるものに限る) インフルエンザ (特定鳥インフルエンザを除く) 百日咳 麻疹(はしか) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 風疹(3日ばしか) 水痘(水ぼうそう) 咽頭結膜熱(プール熱) 結核 髄膜炎菌性髄膜炎	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで 発症した後5日を経過し、かつ、解熱後2日を経過するまで(見就学児童は3日を経過するまで) 特有の咳が消える、または5日間の抗菌性物質製剤による治療終了まで 解熱後3日を経過するまで 腫れが出た後5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで 発疹が消失するまで すべての発疹が痂皮化するまで 主要症状消退後2日を経過するまで 症状により医師によって感染のおそれがないと認められるまで
第3種	コレラ 細菌性赤痢 腸管出血性大腸菌感染症 腸チフス パラチフス 流行性角結膜炎 急性出血性結膜炎	病状により医師によって感染のおそれがないと認められるまで
	※その他の感染症 溶蓮菌感染症 ウイルス性肝炎 手足口病 伝染性紅斑 ヘルパンギーナ マイコプラズマ感染症 感染性胃腸炎 など	※その他の感染症は必要があれば、学校医の意見を聞き、第3種の感染症として措置をとることができる疾患です